

図書館 だより

春 2000. 4 No.266

広島文学資料室～鈴木三重吉と『赤い鳥』～

図書館へ行こう / 中区図書館・まんが図書館

くまぐまのブックレビュー / 鈴木三重吉

コラム「読み聞かせ」をしてみませんか / 絵本の喜び

中央図書館読書会のご案内 / 阿川弘之著『雲の墓標』

リクエストベスト5 (一般書・児童書・まんが) / 平成12年2月1日現在
利用案内・休館日のお知らせ

広島文学資料室

～鈴木三重吉と『赤い鳥』～

広 島文学資料室は、広島に関わりのある多くの著名文学者を対象に、貴重な文学関係資料を収集・保存・活用し、郷土文化の発展に寄与することを目的として、昭和62年10月16日、中央図書館3階にオープンしました。



2 000年は子ども読書年です。全国的にも東京上野に国際子ども図書館の開館が予定されているのをはじめ、児童文学に関連する事業が予定されています。

児童文学といえば、広島を代表する児童文学の先駆者、鈴木三重吉を忘れるわけにはいきません。(関連記事：3面)

中 央図書館では、明治、大正に活躍した鈴木三重吉の偉大な業績と、昭和、平成と現在まで継承されている彼の精神を紹介するため、「赤い鳥」ほか関連作品の展示と講演会を行います。

TOPICS

広 島市立図書館では、お子さま連れの方でも読書を楽しんでいただけるよう、ベビーベッド、ベビーシート、ベビーチェアをご用意しております。

(ただし各館で用意している器具は異なります。ご了承ください。)

室 内には、小山内薫、鈴木三重吉、田中純、細田民樹、岡山巖、大木惇夫、畑耕一、大田洋子、若杉慧、原民喜、正田篠枝、新藤兼人、近藤芳美、峠三吉、黒田三郎、阿川弘之、桂芳久、竹西寛子、梶山季之、大庭みな子ら広島にゆかりの深い作家の初版本や雑誌、肉筆原稿を展示しています。



展示

鈴木三重吉と『赤い鳥』の作家たち
日時 4月21日(金)～5月30日(火)
会場 中央図書館2階展示ホール

講演会

「三重吉と『赤い鳥』をともに歩んだ人々」

日時 4月30日(日) 14:00～
会場 中央図書館3階セミナー室
講師 田辺眞民氏(鈴木三重吉赤い鳥の会理事長)

事前に申込みが必要です。

広島文学史略年表

明治39(1906)年	鈴木三重吉、『千鳥』発表。
40(1907)年	鈴木三重吉、『山彦』発表。
42(1909)年	小山内薫、『自由劇場』設立。
大正7(1918)年	鈴木三重吉、『赤い鳥』創刊。
8(1919)年	田中純、『知恵の果』、『五月の朝』刊行。
13(1924)年	細田民樹、『或兵卒の記録』刊行。
14(1925)年	大木惇夫、詩集『風・光・木の葉』刊行。
昭和6(1931)年	岡山巖、『歌と観照』創刊。
11(1936)年	鈴木三重吉没。『赤い鳥』終刊。
19(1944)年	畑耕一、可部町(広島市安佐北区)に疎開。
21(1946)年	若杉慧、『エデンの海』刊行。
22(1947)年	原民喜、『夏の花』発表。
	正田篠枝、『さんげ』刊行。
	阿川弘之、『八月六日』発表。
23(1948)年	原民喜、水上瀧太郎賞受賞。
	近藤芳美、歌集『早春歌』、『埃吹く街』発表。
26(1951)年	大田洋子、『屍の街』刊行。
	峠三吉、『原爆詩集』刊行。
	原民喜、自殺。
	大田洋子、『人間監獄』刊行。
27(1952)年	大田洋子、『人間監獄』女流文学者賞受賞。
	阿川弘之、『春の城』読売文学賞受賞。
28(1953)年	原爆文学論争おこる。
	桂芳久、『刺草の蔭に』発表。
30(1955)年	黒田三郎、詩集『ひとりの女に』H氏賞受賞。
	大田洋子、『夕風のとんと』刊行。
31(1956)年	桂芳久、『海鳴りの遠くより』刊行。
34(1959)年	新藤兼人、『第五福竜丸』制作。
37(1962)年	梶山季之、『黒の試走車』刊行。
38(1963)年	梶山季之、『李朝残影』刊行。
	竹西寛子、『往還の記』田村俊子賞受賞。
41(1966)年	阿川弘之、『山本五十六』新潮社文学賞受賞。
43(1968)年	大庭みな子、『三匹の蟹』芥川賞、群像新人文学賞受賞。
48(1973)年	竹西寛子、『式子内親王・永福門院』平林たい子文学賞受賞。
50(1975)年	大庭みな子、『がらくた博物館』女流文学賞受賞。
	若杉慧、『長塚節素描』平林たい子文学賞受賞。
	竹西寛子、『鶴』芸術選奨。
	竹西寛子、『管絃祭』女流文学賞受賞。
53(1978)年	竹西寛子、『兵隊宿』川端康成文学賞受賞。
56(1981)年	大庭みな子、『寂寥寥々』谷崎潤一郎賞受賞。
57(1982)年	竹西寛子、『山川登美子』明星の歌人、毎日芸術賞受賞。
60(1985)年	大庭みな子、『啼く鳥の』野間文芸賞受賞。
61(1986)年	阿川弘之、『井上成美』日本文学大賞受賞。
62(1987)年	新藤兼人脚本、監督の『さくら隊散る』封切。
63(1988)年	大庭みな子、『海にゆらく糸』川端康成文学賞受賞。
平成元(1989)年	大庭みな子、『津田梅子』読売文学賞受賞。
2(1990)年	近藤芳美、『嘗為』現代短歌大賞受賞。
3(1991)年	阿川弘之、『志賀直哉』(上・下)野間文芸賞受賞。
6(1994)年	近藤芳美、『希来』斎藤茂吉短歌文学賞受賞。
7(1995)年	大庭みな子、『赤い満月』川端康成文学賞受賞。
8(1996)年	近藤芳美、文化功労者受賞。
	新藤兼人、文化功労者受賞。
9(1997)年	阿川弘之、文化勲章受賞。
11(1999)年	

LIBRARY REVIEW

中区図書館

中区加古町、広島厚生年金会館南側のアステールプラザ2階にあります。

うちの図書館のこの本がオススメ
みなさんは本を借りるときどうやって本を選びますか。

好きな作家、趣味に関係がある、話題になっているなど、読みたい本が決まっていれば、短い時間で決まるでしょう。

でも、もし、時間があるなら、本棚をゆっくり見てまわってください。中区図書館では、表紙が見えるように置いている本があります。本の表紙は「顔」。題を見ただけでは伝わらない魅力を持っています。そしてみなさんとの出会いを待っているのです。



利用者の皆さんへお知らせ
「どこにあるかな」「こんな事を調べたい」、お探しの本があったら気軽におたずねください。館内には自由に使えるコンピュータ目録がありますが、カウンターにいる職員も、みなさんのお役に立てるようにとお待ちしています。

4月～6月の行事予定（中区図書館）

【おはなし会】

- 4月12日（図書館職員）
 - 5月10日（おはなしの雫）
 - 6月14日（モンチッチくらぶ）
- カッコ内は担当講師です

【展示】

- 4月 こどもの本がおもしろい
- 5月 みーんな家族
- 6月 ピチピチャップチャップ

日程及び内容は予定です。詳しくは図書館にお問い合わせください。

中区図書館 248-9300



中区図書館へは、厚生年金会館前バス停下車徒歩約2分です。

図書館へ行こう

中区図書館 まんが図書館



まんが図書館へは、比治山下電停下車徒歩約10分、または段原中央バス停下車徒歩約13分です。

4月～6月の行事予定（まんが図書館）

【漫画講座】

4月下旬

まんが界をはじめ各方面で活躍されている著名な先生を講師としてお招きし、漫画制作法、漫画論、漫画作家論等について講演していただきます。

日程及び内容は予定です。詳しくは図書館にお問い合わせください。

まんが図書館 261-0330



まんが図書館

南区比治山公園、広島市現代美術館の北側にあります。

うちの図書館をひとことという。全国で初めての公立漫画専門図書館で、各時代の漫画の代表作や、研究資料を収集、保存、提供し、各種行事を開催するなど、漫画文化の振興に寄与することを目的としています。

うちの図書館の傾向
「のらくろ」「鉄腕アトム」など各時代を代表する漫画や研究資料を約64,000冊所蔵しており、世代を超えて漫画を楽しんだり研究できます。

ただ、漫画が借りられるだけなの？
毎年「おもしろその年まんが大賞」というコンテストを行っています。その年に芸能・スポーツ・政治などの分野で話題になった出来事を描いた明るくユーモアあふれる1～4コマのまんがのコンテストです。みなさんもぜひチャレンジしてまんがを描く楽しさを実感してください。

☒ 図書館で暮らしている小熊のくまくまくんとお友達のうさぎのうさうさちゃんと犬のぼうぼうさんは毎日図書館の中を見てまわります。今日は中央図書館の広島文学資料室という部屋を見ることにしました。

くまくまくんたちは広島にゆかりのある文学者に関するいろいろな資料が詰まった棚を見てまわりました。その中に広島出身の作家、鈴木三重吉さんの本が集めておいてありました。くまくまくんたちは鈴木三重吉さんの本を読んでみることにしました。

くまくまくんのブックレビュー

鈴木三重吉

棚には、薄い読みやすそうな絵本のようなものもありますし、厚い何巻もある全集もあります。

くまくまくんは『鈴木三重吉全集』の中の一冊を出してみました。うさうさちゃんは『鈴木三重吉童話全集』という別の全集の本を読んでいます。ぼうぼうさんは朱色の箱を出して開こうとしています。

くまくまくんが出してみた本にはいくつか小説が載っていました。くまくまくんはそのうちの一編を読みました。そして、みんなに感想を聞かせてあげました。

「ぼくは『千鳥』という作品を読んだんだ。瀬戸内海の島が舞台になっているらしく、交わっている会話や大根抜きなどの日々の生活の描写が懐かしい感じがしたよ。主人公が惹かれるヒロインはたった2日間知り合いの家でともに過ごして去っていった女性なんだ。この『千鳥』は鈴木三重吉さんの一番最初の小説なんだよ」

うさうさちゃんも鈴木三重吉さんの童話をいくつか読んで感想をお話しました。

「わたしが読んだのは童話なのだけど、どれも架空の国を舞台にしているような話だったり、外国を舞台にしているような話だったわ。内外の説話や文芸作品を題材に書かれているようで、どこかで読んだことがあるような、親しみやすい感じを受けたわ。全体に言葉づかいが平易で丁寧で、きれいな日本語が使われていて、とても読みやすかったわ。鈴木三重吉さんはとてもたくさんの童話を書いているのね」

その時、ぼうぼうさんがくまくまくんとうさうさちゃんを呼びました。

「くまくまくん、うさうさちゃん、ちょっと、これを見てごらん」

ぼうぼうさんが開けた朱色の箱の中にはきれいな表紙の薄い本がたくさん入っていました。

「ぼうぼうさん、これはなに？」

くまくまくんは尋ねました。

「これは鈴木三重吉さんが中心になって発行していた『赤い鳥』という雑誌の復刻版なんだ。うさうさちゃんが読んだ童話の中にもこの雑誌で発表されたものがあるんだよ」

ぼうぼうさんの言葉に、うさうさちゃんは手にとって中身を確認してみました。

「本当だ。さっき読んだ話が載っているわ。ほかにもいろいろ載っているのね」

「そうだね、童話だけではなく、童謡や詩や戯曲も載っているんだよ。童話も鈴木三重吉さんだけでなく、芥川龍之介さんや菊池寛さんや小川未明さんなど、たくさんの作家さんたちが書いているよ。童謡も北原白秋さんや西條八十さんが書いていたりするんだよ」

くまくまくんはぼうぼうさんの話を聞いて感心して、言いました。

「『赤い鳥』って有名な人たちが参加していた雑誌なんだね」

「そうだね。子供のための読み物が従来の御伽噺から童話へたかまり、『童話』という言葉が市民権を得ることができたのも『赤い鳥』の功績と言えるね」

その後、くまくまくんたちは『赤い鳥』の復刻版を手にとって眺めて過ごしました。

ミ ミ ミ ミ

今回くまくまくんたちが読んだ本は以下の通りです。

- 『鈴木三重吉全集』全6巻 (岩波書店)
- 『鈴木三重吉童話全集』全9巻 (文泉堂書店)
- 『赤い鳥』(復刻版) (日本近代文学館)
- 『千鳥』 (岩波書店)
- 『鈴木三重吉童話集』 (岩波書店)

これらの本は広島市立図書館で読むことができる本です。ただし、一部は、広島文学資料室の所蔵になりますので、中央図書館でしか見ることができないものもあります。



COLUMN

絵本の喜び

コラム「読み聞かせ」をしてみませんか

安佐南区図書館
鈴木洋美

先日読んだ本に、お父さんが日本人でお母さんがインドネシア人の一家のことが書いてありました。その家では、お父さんが子どもたちに、絵本の読み聞かせをしているのだそうです。何度も読んでもらってすっかり内容を覚えた子どもたちは、今度は日本語のわからないお母さんに、その絵本をインドネシア語で読んであげるのだそうです。きっと自分が読んでもらった喜びを、お母さんと分かち合いたいと思ったのでしょう。そのお父さんは、「絵本は子どもに読んであげて楽しむだけでなく、子どもに読んでもらって楽しむこともできるの

ですね。」と書いています。

絵本には、読む方にも、読んでもらう方にも喜びがあると思います。子どもを膝に乗せて絵本を読む時の温もりは、読み手の特権のような気さえます。読み聞かせには、「こうしなければいけない」という決まりなどありません。「子どものために読んであげなければ」などと肩に力を入れると、子どもの方も緊張してしまいます。

せっかく同じものを共有できる時間ですから、まず、読み手であるみなさんが楽しむことから始めませんか。

(おわり)

阿川弘之著 『雲の墓標』



太 平洋戦争末期、南方諸島の日本軍が次々に玉砕し、本土決戦が叫ばれていたころ、海軍予備学生たちは特攻隊員として空や海の果てに消えていった。海軍予備学生、吉野次郎の日記をもとに、各地の航空隊できびしい訓練を受けながら、次々と大空に散っていった若者たちの生への執着と死への恐怖に身もたえする姿を描く。

日 時：4月23日（日） 午後3時15分～5時15分
 会 場：中央図書館3階 セミナー室
 講 師：岩崎文人氏（広島大学教授）
 申込方法：中央図書館へ電話（222-5542）か来館のうえ、お申込みください。
 テキストは中央図書館自由閲覧室A室にご用意しております。

広島市立図書館で貸出予約の多い本を紹介しします。みなさんのお手元に届くまで少し時間をいただくようですが、楽しみにお待ちください。

【一般書】

- 1 柔らかな頬 (桐野夏生 講談社)
- 2 五体不満足 (乙武洋匡 講談社)
- 3 永遠の仔 上・下 (天童荒太 幻冬舎)
- 4 沈まぬ太陽 1～5 (山崎豊子 新潮社)
- 5 「少年A」この子を生んで (「少年A」の父母 文芸春秋)

【児童書】

- 1 ハリー・ポッターと賢者の石 (J.K.ローリング 静山社)
- 2 ともしびをかかえて (ローズマリ・サクリ岩波書店)
- 3 太陽の戦士 (ローズマリ・サクリ岩波書店)
- 4 特ダネは海のおい (緒島英二 ポプラ社)
- 5 王のしるし (ローズマリ・サクリ岩波書店)

【まんが】

- 1 あたしんち (けらえいび アイカワ) (けらえいび アイカワ)
- 2 神風怪盗ジャンヌ (種村有菜 集英社)
- 3 天馬の血族 (竹宮恵子 角川書店)
- 4 悪女(わる)(全37巻) (深見じゅん 講談社)
- 5 快感 フレーズ (新條まゆ 小学館)

利用案内

中央・各区図書館

開館時間
 火～金 午前9時～午後7時
 土・日 午前9時～午後5時
 文化の日 午前9時～午後5時
 休館日
 毎週月曜日
 国民の祝日（文化の日を除く）
 図書整理日（毎月末日。ただし土・日・月曜日にあたるときは直前の金曜日）
 8月6日（平和記念日）
 年末年始（12月28日～1月4日）
 特別整理期間

こども図書館

開館時間
 火～日 午前9時～午後5時
 休館日
 毎週月曜日
 国民の祝日の翌日
 月末整理日（毎月末日。ただし月曜日にあたるときはその翌日）
 8月6日（平和記念日）
 年末年始（12月28日～1月4日）
 特別整理期間

まんが図書館・あさ閲覧室

開館時間
 火～日 午前10時～午後5時
 休館日
 毎週月曜日
 国民の祝日の翌日
 図書整理日（毎月末日。ただし土・日・月曜日にあたるときは直前の金曜日）
 8月6日（平和記念日）
 年末年始（12月28日～1月4日）
 特別整理期間

図書の予約・リクエストは FAXでもお申込みいただけます。

>> 申込方法 <<

市立図書館共通の「予約・リクエストカード」または「予約・リクエスト申込書」（FAX送付専用）に必要事項を記入して、図書の受取希望館に送付してください。（予約・リクエストカード等は、図書館窓口にご用意しております）
 受付冊数は1人5冊以内です。
 申込みは、広島市立図書館共通貸出利用券をお持ちの方に限ります。

>> 図書館のFAX番号 <<

中央図書館	222-5545	安佐南区図書館	879-8536
こども図書館	222-7020	安佐北区図書館	814-0604
中区図書館	247-8447	佐伯区図書館	924-0742
東区図書館	264-2610	まんが図書館	262-5406
南区図書館	252-4120	まんが図書館あさ閲覧室	830-3676
西区図書館	295-9287		

休館日のお知らせ 4月～6月

4月							5月						6月										
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土			
						1	1	2	3	4	5	6							1	2	3		
2	3	4	5	6	7	8	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10			
9	10	11	12	13	14	15	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17			
16	17	18	19	20	21	22	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24			
23	24	25	26	27	28	29	28	29	30	31	25	26	27	28	29	30							
30	全館休館													中央・各区図書館のみ休館									
	こども・まんが図書館・あさ閲覧室のみ休館													こども図書館のみ休館									
	(但し、5月2日、こども図書館は開館します。)																						

特別整理期間のお知らせ

西区図書館
 5月23日～5月28日
 こども図書館
 5月30日～6月4日
 まんが図書館
 6月6日～6月11日
 中央図書館
 6月17日～6月30日

特別整理期間中、図書館は臨時休館します。

編集・発行

Hiroshima Central City Library
広島市立中央図書館
 〒730-0011 広島市中区基町3番1号
 www.mighty.ne.jp/hiroshima.city.lib
 082(222)5542

